

タブレットの導入により作業の効率化

メディカルジャパン株式会社
風の森（就労継続支援A型）

課題

感染症対策等により支援員の作業が増大したため、負担を少しでも軽くしたい。



ICT機器 導入

タブレット端末

成果

- ①タブレット端末を利用することで、手書きより早くでき、現場での確認や記録が容易になった
- ②現場で過去の記録の見返りや、映像として記録することが容易になった



業務効率化のステップ

- ①タブレット端末を活用し支援記録を入力したり、映像に残すことで作業の効率化が図れるのではと検討した。
- ②タブレット端末を導入したことにより支援記録を入力したり、現場（施設外就労先や畑等）でもクラウドを利用し過去の記録等も見られるようになった。
- ③タブレット端末での入力に不慣れな支援員もいるので、研修で今後改善していきたい。
- ④Wi-Fi環境にない作業場において、今後はポケット型Wi-Fiを活用するなどして、より良い支援ができるようにしていきたい。

職員の声など

【良かった点】

時間の短縮や作業効率アップにつながった

【悪かった点】

タブレット端末の機能を十分に生かし切れていない、操作に慣れない

【今後の課題・その他】

タブレット端末を上手く活用していく

